

1. 第24期（平成30年度）事業報告

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

事業活動に関する全体報告

第24期（平成30年度）は池田記念美術館の開館20周年という節目を迎え、公益財団法人としても5年目となりました。南魚沼市との間では、美術館の管理運営に関する協定書（期間は、平成26年4月1日から平成36年3月31日まで）に基づいて年度協定書を交わし、芸術・文学・スポーツの分野を中心に、南魚沼市との連携・協力を確認しました。

「環日本海沿岸諸国とのスポーツ国際交流援助事業」「国際的なスポーツの学術的研究に対する援助事業」については応募がなく、実施できませんでした。

展覧会部門は事業計画にあった11回の企画展覧会を予定通り開催しました。

また、「八海山夢展」開催期間中、新潟県ジュニア美術展覧会と新潟県中越教育美術展に入賞した南魚沼市内の児童生徒の作品を「八海山ジュニア展」として展示し、入賞作品を見逃してしまった地元の方々や子どもたちに、作品鑑賞の場を提供しました。

以下、主な展覧会とイベントについて説明いたします。

今期は大規模な企画展を二つ開催しました。

一つは、第2回目となる「八色の森の美術展+八色の森の子ども絵画展2018」です。全国各地から集まった35人の現代作家の作品と、地元の小中学生・総合支援学校の子どもたちが出前授業（6校で開催）で制作した作品と応募作を対等・平等に展示するという画期的な美術展として今回も注目され、基調講演会、シンポジウム、ワークショップなど多彩なイベントも開催しました。本展は日本芸術文化振興会の助成事業に採択されました。

もう一つは、「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催記念展」です。秩父宮記念スポーツ博物館所蔵品を中心に、新潟県ゆかりの選手たちの関連資料を展示し、併せて各種スポーツイベントや講演会を開催、来年の東京大会開催を盛り上げることができました。本展は新潟県文化振興財団の助成事業に採択されました。

芸術を通じた国際交流の展覧会として、日本と海外合わせて13ヵ国の版画家を紹介する「FRIEND' FRIEND 世界の現代版画」を企画しました。また、全国的な絵画団体一水会の新潟・群馬合同展を開催しました。

県内在住の著名作家を紹介する展覧会として、星野健司氏（鉄・ステンレスなどの彫刻）、伊藤省風氏（書道）、山本弘氏（絵画）の個展を開催しました。

地域の交流と文化活動を促進するための企画として、「八海山夢展」「六日町絵画講座 風展」「南魚沼郡市児童生徒美術展」「魚沼ベストショット展」を開催しました。

1月に開催した「第5回雪見展」は2日間で2,358人の来館者で賑わいました。

3月10日には、八海山麓スキー場を会場に、3年連続で、明治大学特任教授・杉原厚吉先生監修の「雪の錯覚すべり台」を地元住民の協力を得て制作・披露し、大好評でした（タテ・ヨコ12ね四方）。本事業には南魚沼市からの補助金がありました。

スポーツ関係部門では、元巨人捕手・加藤健氏による講演会や、各種スポーツカードの展示のほか、協賛事業として「上越沿線少年親善野球大会」「南魚沼グルメマラソン」などに参加しました。

収益事業としては「売店収入」「喫茶収入」「スポーツカードショー収入」がありますが、年3回（春・秋・冬）開催されたカードショーには県外からも多数の参加者がありました。

以下は、過去5年間の入館者数、有料入館者数です。

| | 入館者（人） | 有料入館者数（人） |
|------------|--------|-----------|
| 20期（H26年度） | 19,597 | 11,960 |
| 21期（H27年度） | 16,471 | 7,601 |
| 22期（H28年度） | 20,302 | 10,101 |
| 23期（H29年度） | 16,186 | 6,905 |
| 24期（H30年度） | 16,193 | 5,681 |

次に、過去5年間の事業収益の内容です。

| | 入館料 | 企画事業 収入 | カード ショー収入 | 売店収入 | 喫茶収入 | 委託販売 手数料 | 合計（円） |
|-----|-----------|------------|--------------|-----------|-----------|-------------|------------|
| 20期 | 5,552,515 | 3,782,688 | 1,377,220 | 3,963,328 | 1,181,938 | | 15,857,689 |
| 21期 | 3,679,790 | 6,848,309 | 1,187,600 | 2,459,667 | 1,095,161 | | 15,270,527 |
| 22期 | 5,316,582 | 1,142,766 | 1,142,800 | 3,642,463 | 961,829 | | 12,206,440 |
| 23期 | 3,789,970 | 1,339,159 | 1,403,760 | 1,418,750 | 827,992 | 86,996 | 8,866,627 |
| 24期 | 3,812,030 | 819,690 | 1,229,000 | 1,323,570 | 996,766 | 60,000 | 8,241,056 |

第20期（平成26年度）は「国民栄誉賞受賞記念の長嶋茂雄展」、南魚沼市市制10周年記念事業として採択された「石川雲蝶展」「星野富弘展」の大型企画が3本あり、入館者数が増加しています。また、第21期（平成27年度）は絵画1点の委託販売料（224万円）と文化庁からの企画展助成金（333万円）があったため企画事業収入が増加しています。第22期（平成28年度）は「錯覚展」が新聞各紙やテレビに大きく取り上げられた結果、冬場の来館者数・

入館料が大幅に増加しました。第 23 期（平成 29 年度）は前期と比較して、1 月～2 月の豪雪・悪天候も影響したため、冬期間の入館者数と入館料が減少しました。

平成 28 年度から発行している年間パスポート（3,000 円）の会員数は現在 91 人です。

平成 30 年度から新たに開始した法人パスポート（一口 10,000 円）の発行数は 20 件です。

同じく、喫茶収入を増やすために、平成 30 年度から始めたドリンクチケット（5 杯つづり 1,000 円）は年間 86 枚の販売がありました。

以下、援助事業、美術館事業、スポーツ協賛事業、収益事業につき説明いたします。

1、環日本海沿岸諸国とのスポーツ国際交流援助事業

今期は応募がなかったため実施できませんでしたが、引き続き、ホームページや「イケビふれあい通信」などを使って募集に努めます。

2、国際的なスポーツの学術的研究に対する援助事業

今期は応募がなかったため実施できませんでしたが、引き続き、ホームページや「イケビふれあい通信」などを使って募集に努めます。

3、美術館事業

1) 展覧会

① “FRIENDS’ FRIEND” 世界の現代版画

■会期：4 月 1 日（日）～5 月 6 日（日） 31 日間 1,053 人

日本人版画家 11 人と海外の版画家 12 カ国（中国・台湾・スコットランド・クロアチア・ポーランド・イタリア・ベルギー・チェコ・セルビア・ラトビア・メキシコ・ブラジル）12 人が出展。木版画・銅版画・リトグラフなど様々な技法の版画を展示し、版画の多様性と国際的な広がりを知ることができる展覧会となりました。解説会には海外からも 2 名の出展者が出席、65 名の参加者がありました。

② 一水会新潟群馬合同展

■会期：5 月 10 日（火）～6 月 5 日（火） 24 日間 964 人

絵画団体一水会の新潟支部と群馬支部の合同展。今回で 2 回目の開催となりました。一水会は実力派の画家が多い団体で、2 支部合わせて約 30 人が出展。絵画の王道といった写実的で

風格のある作品が多く、見ごたえのある展覧会となりました。杉森企観明氏を講師に写生会と解説会を開催し、約 40 人の参加者がありました。

③ 星野健司 彫刻展

■会期：6月9日（土）～7月16日（月・祝） 33日間 1,074人

新潟市在住の彫刻家・星野健司氏の鉄やステンレスを素材にした作品を展示しました。抽象的な作品とともに、ライダーや行者などの具象的な作品も紹介し、彫刻家としての40年を振り返る集大成となりました。6月9日には、星野氏と近代美術研究家の山浦健夫氏の対談を開催、24名の参加者がありました。

④ 第19回 八海山夢展 同時開催：第1回 八海山ジュニア展

■会期：7月21日（土）～8月27日（月） 34日間 2,546人

地元の美術愛好家を中心とした展覧会。絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門で作品を募集し112人が出展、作品数は135点となりました。八海山の風景や、裸押し大祭など魚沼をテーマにした作品が多く、魚沼の良さを再確認できる展覧会として例年好評です。解説会やワークショップなどの“美のツボ”も開催し、合計で57名が参加しました。今年から八海山ジュニア展と同時開催となり、親子連れが増加しました。

⑤ 伊藤省風^{せいふう} 書展

■会期：9月1日（土）～10月1日（月） 27日間 761人

書道家・伊藤省風氏は、書道家として40年、中央展や新潟県書道協会などで活躍する一方、浦佐で雪国書道会を主宰しています。今回の個展は、伊藤氏が書家を志した高校時代の作品から最新作まで書道家人生をたどる集大成となり、書作品37点のほか、氏がコレクションした硯の名品27点も展示しました。作品解説会を3回開催、合計で53人が参加しました。

⑥ 第2回八色の森の美術展+八色の森の子ども絵画展 2018

■会期：10月7日（日）～11月18日（月） 34日間 2,273人

全国各地から集まった35人の現代作家の作品126点と、地元の小中学生・総合支援学校の子どもたちが出前授業（6校で開催）で制作した作品と応募作、合計365点を対等・平等に展示。プロと子どもたちの作品を共同展示するという画期的な美術展として今回も注目され、基調講演会、シンポジウム、ワークショップなど多彩なイベントも開催しました。本展は日本芸術文化振興会の助成事業に採択されました。

⑦ 六日町絵画講座 風展

■会期：11月23日（金）～12月24日（月祝） 28日間 1,146人

洋画家・永井昭司氏が講師を務める六日町絵画講座。この教室で油彩画をはじめ、県展や中央展に羽ばたいた生徒も多数おり、南魚沼市の絵画活動に多大な貢献をしています。30周年を区切りに教室を閉めることになり、記念として展覧会を開催しました。講座生15人とOB8人、講師の永井昭司氏の合計24名の作品を展示。会期中には2回解説会を開催、合計58人が

参加しました。

⑧第 63 回南魚沼郡市児童生徒美術展

■会期：12月27日（木）～1月15日（火） 12日間 3,142人

南魚沼市及び湯沢町の子どもの作品約500点を展示しました。子どもたちの創作意欲が「いきいき」と伝わってくる展覧会となりました。作品解説会も開催。期間中は入館無料とし（南魚沼市・湯沢町から入館料の補助あり）、家族での来館者で賑わいました。

⑨2020年東京オリンピック・パラリンピック開催記念展

—秩父宮記念スポーツ博物館所蔵品と新潟県ゆかりの選手たち—

■会期：1月18日（金）～3月24日（日） 57日間 3,030人

秩父宮記念スポーツ博物館所蔵品を中心に、貴重な資料の展示を通じて、日本のオリンピック・パラリンピックの歴史を紹介しました。多くの年配者の記憶を蘇らせ、若い世代には驚きと感動を与えることができました。講演会やスポーツ教室などのイベントでは大勢の参加があり、世代と地域をこえて交流ができました。新潟県ゆかりのオリンピック・パラリンピック参加者の歴史年表、参加者のメダルや記念の品々を展示したコーナーも好評でした。2020年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げることができた企画となりました。本展は新潟県文化振興財団の助成事業に採択されました。

⑩魚沼ベストショット展 PartⅧ

■会期：1月18日（金）～2月26日（火） 35日間 2,180人

県内外の写真家46人が、魚沼地域の変化に富んだ美しい自然—風景や暮らしなど—を撮影した自慢のベストショットを出展。今年で8回目となり、より広く魚沼からのメッセージを発信することを目指しました。今回も高校写真部の特別出展があり、若い感性が来館者の目をひきつけていました。写真ファンだけでなく、大勢の方々に喜んでいただけたと思います。

⑪山本弘 旅情と山河

■会期：3月1日（金）～4月2日（火） 29日間 953人

長岡市在住で太平洋美術会会員の洋画家・山本弘氏の個展。旅情の部・山河の部の2部構成で、旅で訪れたヨーロッパの風景画を描いた油彩画と、八海山など魚沼の風景を描いた油彩画、合計38点を展示しました。会期中3月2日に作品解説会を開催、親せきや絵画仲間など多数が参加し、お祝いのピアノ演奏もあり、和やかな雰囲気イベントになりました。

2) スポーツ関係展覧会

スポーツカードを展示する多目的ホールで野球、相撲関連のカードを展示しました。

① 「2017 ベースボールカード」の展示

■会期：4月～9月(企画展で使用する7月21日～8月27日を除く)

2017年の「GENESIS」や「2018 ベースボールカード 1st バージョン」「2015 ベースボールカード 25th Anniversary」を展示しました。

② 「大相撲カード」の展示

■会期：4月～9月(企画展で使用する7月21日～8月27日を除く)

「97 相撲錦絵カード」「2017 大相撲カード 魂」「2018 大相撲カード」「2018 大相撲カード RIKISHI」を展示しました。

「2020年オリンピック・パラリンピック開催記念展」の関連イベントとして、

③ オリンピック体操メダリスト加藤澤男氏の講演会と地元少年野球チームとの交流会

■講演会 1月19日(土) 15:00～16:00

演題：オリンピックと私 参加者：84名

■少年野球チームとの交流会 1月20日(日) 10:00～11:30

参加者17名(ヤンキースの少年11名、指導者2名、父兄4名)

展示室で懇談交流し、図書資料室でオリンピックメダルについての講義

④ オリンピック・パラリンピック歴史講和

■講和 2月3日(日) 11:00～12:00 参加者13名

講師：野球殿堂博物館学芸員の井上裕太氏

講和と解説：日本のオリンピック初参加時の話題を中心にお話いただき、展示の解説もしていただきました。

⑤ スポーツ教室等の実施(ボルダリング、ボッチャ、スキー)

■親子で参加する初めてのボルダリング教室 於：南魚沼市トレーニングセンター

①1月26日(土) 9:00～10:30 参加者10名(子ども6名、保護者4名)

②2月23日(土) 9:00～10:30 参加者14名(子ども9名、保護者5名)

■ボッチャ体験会

2月3日(日) 10:00～13:00 於：池田記念美術館エントランスホール

14名が参加し、車いすの少女と老人が対戦する場面もあったりして熱気あふれる楽しい体験会となりました。

■初めてのスキー教室

3月16日(土) 10:00～15:00 於：八海山麓スキー場

参加者11名(子ども6名、保護者5名)

今まで一人で滑れなかった子も滑れるようになったり、講師の指導で楽しく教室が運営できました。

4、スポーツ協賛事業

地域のスポーツイベントに積極的に参加し、主催、協賛、実行委員会参加等の形で地域のスポーツ交流の促進に貢献しました。

① 第69回ベースボール・マガジン旗争奪上越沿線少年親善野球大会

日時：2018年5月26日（土）～27日（日）
主催：公益財団法人池田記念スポーツ文化財団／株式会社ベースボール・マガジン社
共催：魚沼市教育委員会 主管：魚沼市野球連盟 後援：魚沼市体育協会
会場：広神野球場、薬師運動広場、青島野球場、小出中学校
記念講演会：26日18:00～20:00 元巨人軍・加藤健氏の講演と実技指導

② 第14回さわやかジョギング大会

日時：2018年6月3日（日）9:00～11:30
主催：南魚沼市教育委員会
協賛：公益財団法人池田記念スポーツ文化財団
会場：八色の森公園周辺特設コース

③ 第8回南魚沼グルメマラソン

日時：2018年6月10日（日）8:00～15:30
主催：南魚沼グルメマラソン実行委員会
※実行委員会に1名参加し、また出展業者として物販（ウェア、入館券、ラフカディオ珈琲）にも参加

④ 第11回八色の森健康ウォーキング

日時：2018年9月23日（日）8:30～12:30
主催：八色の森健康ウォーキング実行委員会
※運営役員として2名参加

⑤ 第10回水無溪谷リバーウォーク

日時：2018年10月21日（日）8:00～14:00
主催：水無溪谷リバーウォーク実行委員会
※実行委員会に1名参加

⑥ 八海山麓ホワイトカーニバル2019

日時：2019年3月10日（日）11:00～15:00
主催：八海山麓ホワイトカーニバル実行委員会
※実行委員会に1名参加し、「雪の錯覚すべり台」を制作・披露。

5、収益事業

1) 売店収入

企画展、ワークショップなどとも連動し、作家の小作品、画集、写真集、図録、DVD、関連グッズなどをショップに飾り、売上アップを図りました。

2) 喫茶収入

エントランスホールからの景色を鑑賞しながら飲む一杯のコーヒーのおいしさをアピール。最近、リピーターに「イケビの珈琲はほんとうに美味しい」と声をかけられます。2011年からジェラート、抹茶、冷抹茶をメニューに加え、新たな客層を呼び越してきました。今後とも企画展に連動してコーヒーチケットを販売するなど、引き続き売上増を図ります。

3) スポーツカードショー収入

スポーツカードの展示（多目的ホール他）と連動しながら、スポーツファン、スポーツカードファンとの交流を促進し、スポーツカード文化の啓蒙とさらなる向上を目指し収益を拡大しています。今後もエントランスホールで実施します。

① BBM スポーツカードショー2018 春の陣 in 浦佐（池田記念美術館）

■日時：2018年4月7日（土） 10：00～15：00 42名参加

② BBM スポーツカードショー2018 秋の陣 in 浦佐（池田記念美術館）

■日時：2018年11月25日（日） 10：00～15：00 33名参加

③ BBM スポーツカードショー2019 冬の陣 in 浦佐（池田記念美術館）

■日時：2019年1月27日（日） 11：00～15：00 28名参加

4) 委託販売手数料収入

収益事業として「南魚沼産コシヒカリ」の販売に積極的に取り組んでいきます。

6、その他

① 一箱古本市

■会期：2018年8月2日（木）～8月21日（火）

■会期：2019年1月6日（日）～1月15日（火）

個人が自分の古書をワイン箱に並べて販売するイベント。夏と冬に開催しました。出店者の個性が光り、本を介して出店者同士や来館者とのコミュニケーションが生まれました。夏の開催は夏休み期間中に、冬の開催は入館無料の期間中となり、多数の来館者となりました。企画を通して本に関わる文化の魅力を発信しました。

② 雪見展

■会期：2019年1月13日（日）～14日（月・祝） 参加者人数：2,358人（2日間）

真冬のクラフトマーケット。地元の手作りの雑貨や食品をつくっているショップや個人が集まり、自慢の一品を販売するイベント。手作り品のワークショップ、リラクゼーションコーナー、デッサンコーナーなどもあり、美術館の枠を超えて、子どもから大人まで多数の参加がありました。